

みと 美都



児童会ドッジボールフェスティバル低学年

御津南部小学校
校長室だより
令和5年12月4日
No. 3 1



御津あおば高校英語出前講座



11月28日(火)、御津あおば高校 国際類型の1年生が学校に来て、英語の講座を開いてくれました。4年生が8グループに分かれ、それぞれ2つの講座を受けました。フルーツ当てゲーム、国当てゲーム、かるたゲーム、すごろくクイズなど、工夫を凝らした内容でも楽しい講座でした。高校生の子たちは、小学生の役に立てるようにと、たくさんの時間をかけて楽しく英語を学べる内容を考えてきてくれました。準備がともしっかりしていて感心しました。



4年生の子たちにとっては、少し難しい英語もありましたが、高校生の英語をきちんと聞きとらなくてはとしっかりと聞いていました。ずいぶん緊張した様子でしたが、だんだん慣れてくると、顔もゆるんできました。高校生の子たちが、「ナイス」「OK」「イエーイ」など、みんなで盛り上げてくれて、笑顔いっぱいの時間となりました。講座が終わる頃には、「楽しかった。」「だんだんわかってきた。もっとやりたかった。」という声が聞かれ、子どもたちの満足感いっぱいの表情がとても印象的でした。英語を話すことの楽しさ、コミュニケーションすることの楽しさを十分に味わえたと思います。最後のお別れでは、うれしそうに手を振り合ったり、声をかけ合ったりしていました。



校長先生は、高校生の子たちの明るい表情、そして、小学生の子たちを気遣う笑顔や優しさに感心しました。高校に入学してから1年にも満たないのに、自信をもってはつらつと英語を話す姿にたいへんびっくりしました。高校生の立派な姿に大拍手です。高校生の代表の子が、最後のあいさつで言った「英語でいろいろな人と話せるようになると視野が広がります。英語を好きになってください」の言葉が、たいへん印象に残りました。

この交流事業は、たいへん価値があると思っています。英語教育の小中高の接続という役割も大切ですが、自分は、地域内でのつながりや、キャリア教育(生き方教育・進路選択)の視点で大きな価値を感じています。小学校と高校が近くにありながら、お互いよく知らない、近くて遠い存在です。こうした交流をきっかけに、もっとお互いのことを知ることができるとよいと思います。



また、地元の専門学科を学ぶ高校生と、地元の小中学校の子どもが交流することで、お互いのプラスになることがたくさんあると思います。豊川市には、御津あおば高校の国際類型だけでなく、国府高校の総合ビジネス科、豊川工科の工業関係の学科、宝陵の衛生看護科、隣の市には、新城有教館の農業が学べる専門系、三谷水産の水産関係の学科など、特色ある専門学科をもつ公立の高校がたくさんあります。高校生たちの豊富な知識や技能を小中学校の活動に生かし、お互いの夢が広がるような活動ができればいいなと思っています。



工場見学に行ってきました（5年生）

11月29日(水)、5年生はトヨタ自動車田原工場と新来島豊橋造船へ工場見学に行きました。学年を2つのグループに分け、見学場所を午前と午後で入れ替わるようにし、2台のバスに分かれて見学しましたが、どちらのグループもしっかり学習ができたようです。

5年生の子たちは、授業で学習したことをもとに、一人一人が興味や関心をもって見学に参加しました。自動車工場では、オートメーション化された生産ラインの様子や人が行う作業における工夫を見学しました。間近で生産ラインを見ることができ、さらに一人一人にイヤホンが渡され、説明をしっかりと聞くことができたようです。また、造船所では、大きな船を分業して製造している様子を見学しました。日本が世界に誇る製造業のしくみや工業生産にたずさわる人々の工夫や努力をしっかりと学ぶことができました。

5年生は、引き続き、地域にある、様々なものづくりを見学し、日本の工業生産について学習を進めていくようです。



消防署で学習（3年生）

11月30日(木)、3年生は豊川市消防署南分署へ校外学習に出かけました。少し遠い場所でしたが元気に歩いていきました。

見学では、消防車のつくりや署内の設備、訓練の様子などを見せてもらいました。火事が起きたときに素早く出動でき、短時間で消火できるよう普段から様々な準備や工夫をしていることを知りました。お話を聞きながら、一生懸命にメモを取り、今後の学習に生かしていこうとする前向きな姿がたくさん見られました。普段は見られない、触れることがないことをたくさん体験することができ、とても勉強になりました。

見学して分かったことを伝え合い、まとめていきます。



早いもので、2023年も最後の月になりました。12月のことを「師走(しわす)」といいます。なぜ「師走」というのでしょうか。いろいろな説があるようですが、有力な説は、普段落ち着いている「師(ものを教える立場にある人、お坊さんなど)も、年末で、忙しく走りまわる時期だからだそうです。確かに、実際に12月になると、1年間のまとめや整理、新年を迎える準備などで忙しくなります。そうすると気持ちの余裕がなくなり、生活もあわただしいものになってしまいます。そして周りのことをしっかりと見て注意する力も下がってきます。

そこで注意してもらいたいのが、**交通事故**です。12月は1年のうちで、一番、交通事故が多い月です。車を運転したり、自転車に乗ったりしている人があわただしい気持ちになり、注意力が下がるので、事故が多くなります。南部小学校のみなさんは、大丈夫だと思いますが、もう一度確認します。



- ・まず、**右左をしっかりと見て車や自転車が来ないこと確認する。**
- ・もし、車や自転車が止まってくれたら、**目を合わせて感謝の気持ちで礼をして横断歩道を渡る。**
- ・**手を挙げて自分がここにいますという合図を送るのもいい**と思います。

交通事故にあわないように一人一人が注意して、元気に冬休みを迎えられるようにしましょう。